

修正日	修正ページ等
2020/10/22	125, 138
2020/10/27	155, 185, 187, 270, 297, 323, 353, 369, 526, 531, 536, 565
2020/11/11	140, 379, 404, 410, 573
2020/11/17	552, 553
2020/11/26	561
2020/12/1	484, 517
2020/12/8	131
2020/12/10	191
2020/12/21	484, 485, 511, 515, 518
2020/12/25	290, 297, 316, 319, 345, 352, 353
2021/1/21	410
2021/4/21	157, 189, 214
2021/4/23	273
2021/6/15	297, 298, 301, 323, 324, 000, 000
2021/7/9	154
2021/7/29	599
2021/10/11	633
2021/10/19	222
2021/10/20	197
2021/11/9	266
2022/1/13	47
2022/2/22	348
2022/8/10	353
2023/1/27	353

※ダウンロードデータに係る内容は、ダウンロードファイルを修正していますので、再度ダウンロードをお願いします。

ページ	項番	図表等	誤	正																																
47	第1章 基本的な考え方	表1.7-14-2 小口径管推進工法用高耐荷力管推進工法 仮設立坑(発進・到達部) (参考)	ライナープレート式 泥土圧式 スクリュー排土 ・呼び径350~400 発進部 6,140×2,500 ・呼び径450~500 発進部 6,140×2,500 泥土圧式 圧送排土 ・呼び径400~500 発進部 6,111×3,000	ライナープレート式 泥土圧式 スクリュー排土 ・呼び径350~400 発進部 6,140×3,000 ・呼び径450~500 発進部 6,140×3,000 泥土圧式 圧送排土 ・呼び径400~500 発進部 6,111×2,500																																
125	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	表2.3.1-2 適用する掘削深さ	吊り機械の深さ区分を追記 表 2.3.1-2 適用する掘削深さ <table border="1"> <tr> <td>ライナープレート形状</td> <td colspan="3">円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm</td> </tr> <tr> <td>吊り機械</td> <td colspan="3">トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊</td> </tr> <tr> <td>掘削機械</td> <td>バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m<sup>3</sup></td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)</td> </tr> <tr> <td>最大掘削深さ</td> <td colspan="2">4.0mまで</td> <td>4.0mを超え 12.0mまで</td> </tr> </table>	ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm			吊り機械	トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊			掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m <sup>3</sup>	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)		最大掘削深さ	4.0mまで		4.0mを超え 12.0mまで	表 2.3.1-2 適用する掘削深さ <table border="1"> <tr> <td>ライナープレート形状</td> <td colspan="3">円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm</td> </tr> <tr> <td>吊り機械</td> <td colspan="3">トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊</td> </tr> <tr> <td>掘削機械</td> <td>バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m<sup>3</sup></td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)</td> </tr> <tr> <td>最大掘削深さ</td> <td colspan="2">4.0mまで</td> <td>4.0mを超え 12.0mまで</td> </tr> </table>	ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm			吊り機械	トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊			掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m <sup>3</sup>	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)		最大掘削深さ	4.0mまで		4.0mを超え 12.0mまで
ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm																																			
吊り機械	トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊																																			
掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m <sup>3</sup>	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)																																		
最大掘削深さ	4.0mまで		4.0mを超え 12.0mまで																																	
ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000~7,000mm、短径 2,000~8,000mm																																			
吊り機械	トラック(クレーン装置付) 4t級、2.9t吊																																			
掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準) (山積・平積) 0.45/0.35 m <sup>3</sup>	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊(貨料)																																		
最大掘削深さ	4.0mまで		4.0mを超え 12.0mまで																																	
131	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	表2.3.1-12及び表2.3.1-14 小判形ライナープレート1日当り配置人員及び1m当りの施工量	ダウンロードデータ表内容誤表示 短径 項目 最下段	両表とも短径 最下段 5,200 ~ 6,000 に統一																																
138	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	D-422-1 ライナープレート掘削土留め	クレーン等項目訂正：ラフテレーンクレーン賃料	トラック(クレーン装置付)、またはラフテレーンクレーン賃料																																
140	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	D-423-1 ライナープレート取除き工	クレーン等項目訂正：ラフテレーンクレーン賃料	トラック(クレーン装置付)、またはラフテレーンクレーン賃料																																
154	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-2 1m当りの標準施工時間(a)	表中、適用範囲訂正 砂質土 N<50 礫質土 N<50	砂質土 50<N 礫質土 50<N																																
155	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-1-4 ケーシング撤去工	備考：撤去長 L(m) = π + ケーシング呼び径 + ケーシング撤去長 × 4	L(m) = π × ケーシング呼び径 + ケーシング撤去長 × 4																																
157	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-2-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 318-8-20 (25)	18-8-20 (25)																																
185	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-3 クラムシェル、トラッククレーン、ラフテレーンクレーン規格	ラフテレーンクレーン規格漏れ	16t吊																																

正誤表箇所			誤	正
ページ	項番	図表等		
187	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-4-1 ケーシング切断工	種目：特殊作業員	種目：溶接工
189	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-5-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	24-8-20 (25)
191	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-13 機械積込み・積降し	ラフテレーンクレーン賃料 適用欄 参照表修正 表-15	表9-13
197	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-23 クラムシェルうんたん1時間当り歩掛	軽油数量訂正 ※ダウンロードデータのみ 平積0.20m3：6.3ℓ、平積0.30m3：9.8ℓ、平積0.40m3：16ℓ、平積0.60m3：17ℓ	平積0.20m3：7.2ℓ、平積0.30m3：11ℓ、平積0.40m3：18ℓ、平積0.60m3：20ℓ
213	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-4-1 ケーシング切断工	種目：特殊作業員	種目：溶接工
214	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-5-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	24-8-20 (25)
222	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-22 クラムシェルうんたん1時間当り歩掛	軽油数量訂正 ※ダウンロードデータのみ 平積0.20m3：6.3ℓ、平積0.30m3：9.8ℓ、平積0.40m3：16ℓ、平積0.60m3：17ℓ	平積0.20m3：7.2ℓ、平積0.30m3：11ℓ、平積0.40m3：18ℓ、平積0.60m3：20ℓ
266	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-2-4-1 ケーシング切断工	摘要欄訂正 計 10m当り	摘要欄 計 削除
270	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-7-1 ダンプトラック運転工	項目ダンプトラック運転費の数量：0.16台	誤植により数量削除
273	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-1-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	18-8-20 (25)
290	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	※ダウンロードデータ ・底盤コンクリート ・C代価等 D-7 レイタンス運搬処理	・底盤コンクリート 摘要する表9-1を追記 ・C-7 レイタンス運搬処理
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-7 レイタンス運搬処理工	代価番号訂正：D-7 レイタンス運搬処理工	C-7 レイタンス運搬処理
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-10 泥水処分工	項目の単位訂正：時間	単位：日
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-10 泥水処分工	上記修正取止め	上記修正取止め
298	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	泥水10m3当りの運転時間（表）	項目単位修正：運転日数（日） ※2箇所	運転時間（時） ※2箇所
301	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-14 ケーシング撤去工	種目修正：溶接工	特殊作業員
316	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	項目単位修正：底盤コンクリート単位： m3	単位：箇所
319	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-2 底盤コンクリート工	・表題修正：C-2 底盤コンクリート工 ・表単位修正：(1m3当り)	・C-2 底盤コンクリート ・(1箇所当り)
323	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-10 泥水処分工	項目の単位訂正：時間	単位：日
324	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	泥水10m3当りの運転時間（表）	項目単位修正：運転日数（日） ※2箇所	運転時間（時） ※2箇所
345	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	※ダウンロードデータ ・底盤コンクリート ・C代価等 D-7 レイタンス運搬処理	・底盤コンクリート 摘要する表9-1を追記 ・C-7 レイタンス運搬処理
348	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-3 ケーシング引上げ工	トラッククレーン形状寸法修正 4.8t～4.9t吊	25t吊
352	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-7 レイタンス運搬処理工	表題変更：C-7 レイタンス運搬処理工	C-7 レイタンス運搬処理
353	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-9 レイタンス処理工	・表題変更 C-9 レイタンス処理工 ・各人工数量追記	・D-9 レイタンス処理工 ・土木一般世話役：0.17人、特殊作業員：0.17人、普通作業員：0.17人
353	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-10 泥水処分工	・表題変更 C-10 泥水処分工 ・各項目の単位訂正：時間	・D-10 泥水処分工 ・単位：日
358	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-14 ケーシング撤去工	種目修正：溶接工	特殊作業員
369	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	5.機械構成	バックホウ仕様追記	8) バックホウ (平積0.35m <sup>3</sup> )
379	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-15 機械移設工	トラック仕様追記	計上・寸法 11t
404	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-9 機械移設工	トラック仕様追記、数量訂正：8時間	計上・寸法 11t 数量：1時間

正誤表箇所			誤							正						
ページ	項番	図表等	表記内容変更							呼 び 径						
			種 目	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要	呼 び 径	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要
410	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-19 機器輸送費	圧入機械		台	2			往復	1500・1800・2000	25t積トレーラー (1台往復)	台	2			往復
			圧入機付属機器		台	2			"		11t積トラック (1台往復)	台	2			"
			圧入機付属機器		台	2			"		32t積トレーラー (1台往復)	台	2			"
			ロックブレーカ		台	2			" (必要時)		25t積トレーラー (1台往復)	台	2			"
			計								11t積トラック (1台往復)	台	2			"
											ロックブレーカ	4t積トラック	台	2		" (必要時)
											計					
備考：輸送機器は、圧入機械、掘削機械、および圧入機附属機器である。																
410	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-19 機器輸送費 D-20 機器積込み積降し	代価番号修正 D-19 機器輸送費 D-20 機器積込み積降し							D-11 機器輸送費 D-12 機器積込み積降し						
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	C-8-2 機器積込み積降し	ダウンロードデータ表内容誤表示 トラッククレーン賃料 摘要欄 参照表番号訂正 表9-17							表9-11						
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2 底部工	砕石基礎工 項目削除 砕石基礎工 備考追記							備考 底部工は、インパートを考慮して適正に処理すること。						
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2-1 コンクリート工	備考欄、諸雑費摘要欄 記載漏れ							諸雑費摘要欄 備考2 備考 1. コンクリートの配合は、30-18-20(25)を標準とする。 2. 諸雑費は、シュート・ホッパー損料等に関する費用であり、労務費の合計額に4%を乗じた金額を上限として計上する						
485	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2-2 モルタル上塗り工	モルタル工単位：m							モルタル工単位：m <sup>3</sup>						
511	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	C-3 底盤コンクリート	底盤コンクリート打設工単位：m							底盤コンクリート打設工単位：m <sup>3</sup>						
515	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-10-1 スライム処理工	特殊作業員、普通作業員適用欄：表-21							特殊作業員、普通作業員適用欄：表8-18						
517	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	表8-21 円形覆工板設置工・撤去工歩掛	クレーン付トラック運搬費（時間）数量訂正：円形覆工板撤去工 0.08 時間							数量：0.80 時間						
518	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-11-3 円形覆工板開閉工	ダウンロードデータ表内容誤表示 特殊作業員項目							特殊作業員項目削除						
526	第2章 積算 第4節 埋戻し工	表2.4-5 機械運転単価	小型バックホウ 適用単価表：機-18、摘要欄							小型バックホウ 適用単価表：機-1として各機種統一、摘要欄：削除						
531	第2章 積算 第5節 基礎コンクリート工	D-7-1 基礎砕石工	バックホウ運転 単価表欠落							表2.4-6 運転1日当り単価表を追加 表2.4-6 運転1日当り単価表（機-18）（参考）						
			種 目	形状寸法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要							
			特殊運転手		人											
			燃料費		ℓ											
			機械損料		供用日											
			諸雑費		式											
			計													
536	第2章 積算 第6節 路面覆工	E-14 運転1日当り単価表（機-28）	表題変更：運転1日当り単価表（機-28）							運転1日当り単価表（機-18）						
552	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-8 立坑内鋼材設置撤去工歩掛	ダウンロードデータ表内容誤表示							ダウンロードデータを図書内容項目に修正						
553	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-9 立坑内鋼材設置撤去工（既設構造物）歩掛（参考）	ダウンロードデータ表内容誤表示							ダウンロードデータを図書内容項目に修正						
553	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-10 立坑内鋼材搬出入工（既設構造物）歩掛（参考）	ラフテレーンクレーン賃料：2.03（日）							ラフテレーンクレーン賃料：2.0（日）						
561	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表 2.7-20 配線配管用ラック及び通路用敷鉄板数量	単管パイプの数量訂正：5.0m × 4 重量計：186.48							単管パイプ 数量：5.0m × 3 重量計：175.56						

正誤表箇所			誤	正
ページ	項番	図表等		
565	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	D-13-1 仮設階段設置用材料費	備考記載修正 備考 1. 単管パイプ、仮設階段、鋼製布板の損料限度額は、基礎価格の90%とする。 2. パイプベース、クランプ、パイプ継手の損耗率は、「建設機材等損料算定表」による。 3. 諸雑費として、材料費合計額の3%を上限として計上できる。	備考 1. 仮設階段材料は賃料とする。 2. 諸雑費として、材料費合計額の3%を上限として計上できる。
573	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	D-13-13 電動機設備工	電工数量追記	電工：1.44人
599	参考	既設構造物への直接到達を可能とする工法	工法追加	該当工法として、⑩外筒残置式推進工法（超泥水加圧推進協会）を追加 データは、ダウンロード画面の”一括ダウンロード（33,501kB）”に格納
633	引用問合せ一覧表	No.1 アート工法	メールアドレス訂正 誤：ta@sanwakizai.co.jp	訂正 info@art-koho.gr.jp